

公表

事業所における自己評価結果 放課後等デイサービス

事業所名		SPORTS LABO DAYS 武蔵小金井PARK				公表日	2026年7月1日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	100%	0%	・小学生の集団療育時は特に狭さを感じることがあります。	・構造上拡張ができないため遊具を寄せるなどできるだけスペースを確保し活動に取り組んでいきたいと思っています。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。	100%	0%	・適切だと思います。		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	100%	0%	・環境上の配慮がなされていると思います。	・死角は少なく、出入口の換気用の木枠を撤去したため段差もほぼ無い環境となりました。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	100%	0%	・始業前、療育後に毎日清掃を行っています。		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	100%	0%	・個別の部屋は無いですが、スペースを区切って対応するなど状況によって対応することはできます。	・物理的に部屋を用意することは難しいですがマットで空間を仕切るなどすれば対応することがあります。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	100%	0%	・始業前、療育後でミーティングを行っています。		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100%	0%	・ミーティングで共有しています。		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100%	0%	・始業前、療育後でミーティングを行っています。	・年齢を問わず意見を伝えやすいような雰囲気でのミーティングを心掛けています。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	0%	100%			
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	100%	0%	・主にオンラインを活用しながら、機会を確保しています。	・オンライン研修の頻度を増やすなど業務がある中でも受けやすい機会を提供していきたいです。	
適切な支援	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	100%	0%			
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	100%	0%	・面談や体験時をはじめ毎回のフィードバック時に様子を把握し、計画やサービス内容に反映させています。		
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	100%	0%	・日頃のミーティングでの内容や保護者様との面談の内容を基に作成が行われています。		
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	100%	0%			
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	100%	0%	・感覚統合理論を土台に他のアセスメントツールを用いながら適応行動につなげています。	・個々の特性を理解しながら柔軟に対応することを変わらず心がけて接していきたいです。	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	100%	0%			
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	100%	0%	・立案はその日担当する指導員ですが、これまでの活動の様子をミーティング時に情報を共有することで多角的に関わるように心がけています。	・チームで関わることを大切にしたいため、担当制ではありません。今後変わらず、指導員が1人の児童への担当意識を持てるようにしていきたいです。	

援 の 提 供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	100%	0%	・担当制ではないため固定はしていないと思います。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	100%	0%	・その日の体調や精神面も含め考慮してされていると思います。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	100%	0%	・毎回、支援開始前にミーティングを行っています。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	100%	0%	・毎回、支援開始前にミーティングを行っています。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	100%	0%	・サービス提供記録をきちんと残しています。保護者様にきちんと記録内容を確認いただいています。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	100%	0%	・毎回行っています。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	50%	50%	・これまで同様地域交流の機会という観点では機会は少ないと思いますし、ご利用者のニーズもそこにはあまり無いように感じています。	
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	100%	0%	・療育内容や種類、取り組み回数の選択など行っています。活動内において自己決定の機会は大切にしています。	・意思決定がされる際には、自身がやりたい活動だけでなく、挑戦やできるようになりたいなど前向きであることや他者理解も踏まえて冷静に見極めて判断したい。
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	50%	50%	・会議自体の回数は少ないですが、出席した会議ではそうでした。	・協力体制は継続していきます。
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	100%	0%	・学校訪問など保護者様の要望があれば行い、連携して支援を行っています。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	25%	75%	・送迎はしていないため学校から定期的に情報共有する機会は少ないです。 ・特定の小学校とはできている。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	0%	100%	・No.28同様。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	0%	100%	・該当なし	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	25%	75%	・直接連携を図る機会は少ないですが、紹介から通所に至るケースがあります。情報誌を郵送いただいています。	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	0%	100%	・ありません。	
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	25%	75%	・意向はあるが、現状は積極的ではない。 ・オンラインで参加しています。	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	100%	0%	・毎回、お迎えのフィードバック、相談支援時に活動の様子をお伝えしたり、1週間の様子をお聞きする機会があります。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	75%	25%	・相談されることもあり、都度ご家庭でできる活動等をお伝えしています。	・支援時間だけでなくご家庭でも行っていたり様々な活動を提案していきたいと思っています。
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	100%	0%	・契約時に行っています。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	100%	0%		
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	100%	0%	・得ています。	

保護者への説明等	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	100%	0%	・ No.34,35同様	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	0%	100%	・ しておりません。	
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	100%	0%	・ 行っていると思います。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	0%	100%	・ HPはありますが情報の発信は今年度は特にプライバシーの観点から配慮するようになっています。アプリを使つての連絡体制はとれています。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	100%	0%		
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	100%	0%	・ 児童の送迎を保護者様にお願いしていることから、毎回、お会いすることができフィードバックや見学も行っています。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	0%	100%	・ 閉ざしているわけではないが、個人情報保護の観点から取って招待する機会は少ないと思います。	・ 地域に開かれた施設運営を目指していますが、現状の中で招待するなどは難しいことが予想されます。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	100%	0%	・ マニュアル等を確認しています。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	100%	0%	・ 行っています。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	100%	0%	・ 面談時に確認しています（フェイスシート）。面談時の資料に確認欄があり記載していただいています。	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	100%	0%	・ No.48同様	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	100%	0%	・ 行っています。	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	100%	0%	・ されていると思います。	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	100%	0%	・ されており、共有しています。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	100%	0%	・ 対応しています。 ・ 研修を受けています。	
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	100%	0%	・ 委員会等で確認し共有しています。	